

2018 人事院勧告 月例給+0.16%・一時金+0.05月

## 5年連続の引上げに向けて好発進!

人事院は8月10日、国家公務員の給与に関する勧告を、内閣と国会に提出しました。今後、公務員連絡会が内閣人事局や大臣等と交渉をし、政府が人事院勧告の取扱い方針を閣議決定して、国会に法案が提出され、可決・成立して決定していきます。

私たち地方公務員の給与は、国家公務員の給与などとの均衡も考慮し、神奈川県の人権委員会が知事・県議会に対して給与勧告を行います。国段階では引上げの勧告が出ましたが、私たちに直接関係する県段階での交渉は、まさにこれから始まります。月例給アップ、臨任・非常勤・再任用教職員の処遇改善に向けて、署名や寄せ書きなどのとりくみが重要になります。

### 国家公務員の給与勧告のポイント

月例給・ボーナスともに引き上げ

- ① 民間給与との較差(655円 0.16%)を埋めるため、俸給表の水準を引上げ
- ② 一時金(ボーナス)を0.05月分引き上げ勤勉手当に配分する(4.40月分→4.45月分)

		6月期	12月期
2018年度	期末手当	1.225月(支給済み)	1.375月(改定なし)
	勤勉手当	0.90月(支給済み)	0.95月(現行0.90月)
2019年度以降	期末手当	1.30月	1.30月
	勤勉手当	0.925月	0.925月

## 県教育予算要求(総論交渉)

8月24日、神奈川県教育委員会に対して総論交渉を行いました。神教組からは、重点項目として、「外国語活動」「外国語科」に、具体的手立てを講じること。教職員研修の改善をすすめること。総労働時間短縮に向けた具体的施策を講じること。「働き方改革」については、「働き方改革検討協議会」において実効ある施策を打ち出し、その実現を市町村教委とともにとりくむこと。部活動支援のための施策を市町村ごとに格差が生じないように予算措置すること。等を要求しました。

湘南教組からは、①小学校で行われている35人以下学級に対する加配措置の中学校までの拡大。②児童指導担当教員、生徒指導担当職員の加配の拡充。を要求しました。

県教委からは次のような回答がありました。

- ・小学校2年の加配措置は県単独の事業である。県教育委員会でも国に要求していく。
- ・定数是正に向けても同様に国に要求していく。
- ・「外国語科」の専科の検討をするとともに、指導力向上研修を行っていく。
- ・研修は全体的に減らしていく方向で検討する。
- ・労働時間上限の話合いを行っていく。



# 来年度からの中学校道徳の教科書決まる！

中学校「特別の教科 道徳」が来年4月から全面実施されることから、7～8月、湘南三市一町の教育委員会で、来年度から使用される中学校「特別の教科 道徳」の教科書が採択されました。採択された出版社は、以下の通りです。

2019年度使用 中学校「特別の教科道徳」教科書		
鎌倉市	7/18 採択	東京書籍
藤沢市	8/ 1 採択	光村図書
茅ヶ崎市	8/ 7 採択	東京書籍
寒川町	8/ 7 採択	日本文教

これからも引き続き「道徳」の教科  
化や「教科書」の在り方・内容等、  
問題性を意識しながら現場の声を届  
けていくことが大切です！

この間、それぞれの教育委員会は、教科書展示を行い、各学校、審議委員（校長および保護者の代表者）及び調査員（教員の代表者）による調査研究を諮問し、審議委員会の答申を受けました。それらをふまえ、教育委員会で採択について協議されました。「現場の教員の考えを最優先に採択していく」など、地域によっては現場の声を尊重する教育委員の発言がありました。その結果、議論で多く取り上げられた出版社が採択されました。

## 藤沢市教委との全体交渉

8月7日、藤沢市教育委員会と「教育施策・予算に関する全体交渉」を行いました。

執行部から①教職員の健康確保、快適な職場環境の実現、②教職員の多忙解消、③インクルーシブ教育に向けた条件整備、④臨時的任用・非常勤・再任用教職員及び市費講師の勤務条件の周知などについて要求しました。

市教育委員会からは次のような回答がありました。

- ・小学校の児童支援担当、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の充実など、教職員の負担軽減にとりくんでいく。
- ・労働安全衛生管理体制を軸に、教職員の安全と健康の確保、働きやすい職場環境づくりにとりくんでいく。
- ・小学校においても校務用パソコンの整備を進めていく。（現在整備率 77%、前年度より 35 ポイント上昇）
- ・介助員だけでなく、看護介助員の予算確保にも努めていく。



## 鎌倉市教委との全体交渉

8月2日、鎌倉市教育委員会と「2019年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

執行部の総括質疑としては①湘南教組との事前協議及び協力体制の確立について②鎌倉市教育委員会の2019年度重点施策について③次期学習指導要領の課題の把握と具体的な施策・対応について④教職員の働き方改革・多忙解消に向けての具体的な対応について、また、各専門部からも3点ずつ要求しました。

鎌倉市学校職場環境改善プランが策定されましたが、給食費の公会計化などは予定よりも早急に行うべきであり、また、必ずしも全ての内容を学校現場が求めているわけではありません。教職員の意見が反映できる労働安全衛生体制の確立が必要であり、それと同時に私たちも各学校において、働き方を見つめ、業務の精選や勤務時間の意識をもつ必要があります。



# 沖縄スタディーツアー2018

DID YOU  
KNOW?

沖縄スタディーツアーを今年度も8月4日～6日の2泊3日で行いました！今回の参加者は総勢24名。台風の影響もなく、最高の天気の中充実した3日間を過ごすことができました。

初日は「ひめゆりの塔」「平和祈念公園」「糸数壕(アブクラガマ)」を見学し、沖縄の歴史に触れ、2日目は**沖縄を各自で満喫**。そして3日目は、「佐喜真美術館」「普天間第二小学校」を見学しました。**普天間第二小学校**は周りから見学する予定でしたが、なんと！校長先生が、屋上へと案内して下さいました。

「うわっ！！近い・・・！！」屋上に着くと参加者は、基地と学校の近さに思わず声をあげました。建設中のシェルターの話や1日に何度も鳴る避難警報の話、・・・校長先生の話は私たち教員にとって衝撃的な内容ばかり。次々と校長先生に質問をする参加者の真上を大きな音を立ててオスプレイが飛んでいきました。「**沖縄の戦争はまだ終わっていない！**」という現地の人たちの言葉が突き刺さる瞬間だったのでないでしょうか。沖縄の**美しさ、過去、そして現在**。それが3日で学べる**沖縄スタディーツアー！**今年度参加できなかった方、**来年度ぜひ参加して下さいね！！**

## <参加者の感想より>

- ♪ 2日目の自由時間ももちろん楽しかったが、プライベートではなかなか行くことのない戦争に関するところをまわり、考える時間がもたらされた。このツアーに参加して良かったです。
- ♪ 懇親会はいろんな地域の人たちとたくさん話すことができ、一期一会の出会いを味わうことができた。
- ♪ 沖縄の今と過去、明と暗、どちらも知ることができました。どちらもあわせて沖縄なのだと思います。
- ♪ なぜ私たち教員が戦争について学び、正しい知識を身につけなければならないかよく分かりました。



真上にオスプレイ

## 原水禁平和行進

7月26日、原水禁平和行進を行いました。例年に漏れず今年度も暑い中、鎌倉、藤沢、茅ヶ崎・寒川の3コースに分かれて、『核のない平和な世界の実現』を訴えながら行進しました。沿道から賛同の声をかけていただいたり、手を振ってくださったりの応援を受けながら歩き、核廃絶・平和行政に関わる要請書を各自治体に渡しました。今年は、戦後73年。被爆された方々がますます高齢になっていく今、また、安保法制などで戦争をしない日本の平和が不安定になっている今、このようなとりくみを続けていくことは大変重要です。



## 第13回復興応援ツアー 10/13(土)~14(日)

福島へ赴き、東日本大震災という災害を風化させないために、福島県教組の方と一緒にフィールドワークを行い、希望の牧場を視察します。多くの参加をお待ちしております！

詳細は、別紙資料をご参考ください。 ※〆切 9/20(木)

湘南教研では義捐金へのご協力ありがとうございました。おかげさまで、164,790円となりました。復興応援ツアーで福島に届けてきます！